

# 6月中旬～7月上旬は成虫の多発時期です！

～この時期にクビアカツヤカミキリの成虫が集中して樹から出てきます～

○「クビアカツヤカミキリ」は、モモ、スモモ、ウメ等を加害する特定外来生物で、幼虫は樹の内部を食い荒らし、枯らしてしまふことがあります。

○令和元年に伊都地方で被害が初めて確認され、令和7年12月までの当地方の果樹の被害累計は、かつらぎ町:922地点、6,309本、橋本市:476地点、2,129本、九度山町:12地点、29本です。

○モモ、スモモ、ウメ園等で、フラスを見つけた場合は幼虫の掘り取り等による防除を、成虫を見つけた場合は捕殺してください。また、併せて**下記の農薬を散布**してください。



株元にたまったフラス



幹から出ているフラス

## 【成虫防除】

○モモ、スモモ、ウメ園では、**6月中旬～7月上旬を中心**に登録農薬(表1)による成虫防除を徹底してください。

表1 クビアカツヤカミキリ成虫に対する登録農薬(令和8年3月)

作物名	農薬の名称	収穫前日数/回数	希釈倍数
もも	モスピラン顆粒水溶剤	前日/3回まで	2000倍
	ダントツ水溶剤	7日前/3回まで	2000倍
	アクタラ顆粒水溶剤	前日/3回まで	2000倍
すもも	モスピラン顆粒水溶剤	前日/3回まで	2000倍
	ダントツ水溶剤	3日前/3回まで	2000倍
	アクタラ顆粒水溶剤	7日前/2回まで	2000倍
うめ	モスピラン顆粒水溶剤	前日/3回まで	2000倍
	ダントツ水溶剤	前日/3回まで	2000倍
	アクタラ顆粒水溶剤	7日前/2回まで	2000倍

注)購入前や使用前には、最新の使用基準を確認しましょう。

## 【掘り取り】

○侵入した幼虫が樹体内部を食い荒らし、外部にフラス(木屑と虫糞が混ざったもの)を排出します。園内を見回り、早期発見と対策を行いましょう。

○被害の発生を確認したら、フラス排出部の樹皮をマイナスドライバー(貫通ドライバー)で剥がし(写真1)、掘り取り(写真2)捕殺し、穴の奥に入ってる場合には針金(写真3)を挿し込み幼虫を捕殺しましょう(写真4)。

また、適宜ロビンフッド等スプレー式殺虫剤の噴射による殺虫も行ってください。



写真1 マイナスドライバーでの掘り取り

フラスが出ている部分にマイナスドライバーを挿して樹皮をめくっていく。



写真2 幼虫の食入状況  
(樹皮をはがした状態)

幼虫が小さいときは、樹皮近くに潜んでいることが多い。大きくなると、幹の中央部へ入っていく。



写真3 掘り取りに使う針金  
(Φ0.7mm程度のピアノ線)



写真4 針金で捕殺

枝や幹の奥深くまで穴を掘って入り込んでいるときは、針金で捕殺する。

○早期発見に努め、産地全体で協力しながら防除対策に取り組んでください。

○防除方法については、下記のいずれかの機関にご相談ください。

- ・伊都振興局 農業水産振興課 (☎:0736-33-4930)
- ・JAわかやま 紀北地域本部 営農指導課 (☎:0736-43-2555)
- ・農作物病害虫防除所 紀の川駐在 (☎:0736-73-2274)